

加婆禪概數

續修東大寺正倉院文書  
計帳斷簡年號及國

新撰姓氏錄序臣等奉勅謹加研精、捃摭群言、沙汰金礎、截舊記之煩蕪、採會新之機要、除新系之塗說、撮通古之折中、思所以令文約辭易、冷然示掌、緩乎指南、起自神武迄乎弘仁、溫故知新、能事粗畢、凡一千一百八十二氏、總爲卅卷、勒成三部、名曰新撰姓氏錄。

古史徵一夏此に錄されたる諸氏の數を、委く本編を數へ試むるに、一卷は皇別眞人の諸氏十四氏本ごもに三十三氏、二卷左京の皇別上に四十二氏本に三十二氏、三卷左京の皇別下に三十二氏、四卷右京の皇別上に三十三氏、五卷右京の皇別下に三十四氏、六卷山城國の皇別に二十四氏、七卷大和國の皇別に十八氏、八卷攝津國の皇別に二十九氏、九卷河内國の皇別に四十五氏今本に四十、十卷和泉國の皇別に三十三氏、十一卷左京神別上に三十八氏天神のみあり、未あり、今本に二十氏有は誤なり、地祇の末二氏、十四卷右京の神別上に三十四氏内三十二氏は天神の末、二氏は天孫の末也、十五卷右京の神別下に二十九氏天神の末二氏、天孫の末二十氏、地祇の末、十三卷左京の神別下に二十一氏天神の末、未あり、今本に二十八氏有は誤なり、十六卷山城國の神別に四十亜氏天神の末三十二氏、天孫の末十一氏、地祇の末、未あり、今本に三十五氏有は誤なり、十七卷大和國の神別に四十四氏天神の末、未あり、二十三氏天孫の末十六氏、二十一卷右京の諸蕃上に三十五氏天神の末十三氏、地祇の末八氏、未あり、十九卷河内國の神別に六十三氏天神の末四十七氏、天孫の末十三氏、地祇の末三氏、未あり、二十卷和泉國の神別に六十氏天神の末四十、未あり、三十七氏漢人の末四氏、百濟人の末十四氏、高麗人の末十五氏、新羅人の末一氏、任那人の末三氏、未あり、二十三卷右京の諸蕃上に三十八氏すべて漢人の末五氏、百濟人の末四十六氏、高麗人の末八氏、新羅人の末三氏、未あり、二十四卷右京の諸蕃下に六十二氏漢人の末、未あり、三十ノ九氏漢人の末、未あり、今本